

小郡市の「地域障害児支援体制中核機能」としての取り組み

① 幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援機能

- 〈重度の障害や重複する障害のある児童や、要支援・要保護児童等の様々な課題を抱える障害児・家族に対し、必要な支援が提供できるよう、多様な専門職の配置により幅広い高度な専門性を確保していく〉
- 同伴通園を通して、保護者に対して子ども理解(子どもの特性を踏まえた関わりや環境設定など)を促す
- 定期的な保護者学習会の実施(ペアレントトレーニング、**ペアレントプログラム(小郡市)**も含む)
- 小郡市医療的ケア児等コーディネーター事業を受諾**
- 法人内に診療所を併設しており、医療と福祉の連携する事で丁寧で、より質の高いの支援を行う
- 法人内での定期的な学習会、職種を超えたチームアプローチ、学会等にて情報発信

② 地域の障害児通所支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能

- 〈地域の児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所に対し、専門性の高い支援を必要とする障害児、及び家族の支援に関して、アセスメントや具体的支援方法等に関する専門的な助言を行う〉
- こぐま学園の療育場面の見学受け入れ、または事業所への訪問支援によるアドバイス
- 定期的な学習会や研修会の実施(自閉っ子セミナー、肢体不自由児向け学習会等)
- 小郡市自立支援協議会の児童ワーキングチームの企画・運営**。基本的な子ども達の捉え方や関わり方を共有する事で、ある程度共通した視点で支援が行えるようにする

③ 地域のインクルージョン推進の中核としての機能

- 〈地域の中で子ども達が安心安全に育つために、保育所・幼稚園や放課後児童クラブ、児童養護施設等に対して、障害児、及び家族の支援に関する専門的支援・助言を地域に出向いて行う〉
- 保育所等訪問支援事業の他に、障害児等療育支援事業(福岡県、久留米市)や**小郡市との契約事業(小郡市の幼稚園巡回)**など様々な手段を通して、地域の保育所等との連携(巡回相談、訪問支援)
- こぐま学園の療育場面の見学受け入れ、または園や学校への訪問支援によるアドバイス
- 定期的な学習会や研修会の実施(自閉っ子セミナー、肢体不自由児向け学習会等)

④ 地域の障害児の発達支援の入口としての相談機能

- 〈気付きの段階を含めた地域の多様な障害児、及び家族に対し、発達支援に関する入口としての相談機能〉
- 小郡市の健診(1歳半、3歳)へ心理師を派遣し、子どもの評価、もしくは専門機関へのつなぎ**
- 小郡市親子あそび教室「きらきら教室」への保育士派遣によるアドバイス**
- 小郡市子育て相談(ぽかぽか)への相談員派遣による、子どもの発達に関する相談および具体的な関わり方等アドバイス**
- 小郡市発達相談(新規)へ心理士を派遣し、子どもの評価、もしくは専門機関へのつなぎ**
- 障害児通所支援等アセスメント業務委託による障害児福祉サービス利用前の子どものアセスメント評価**
- こぐま福祉会の入り口部分としてたまごグループにて、子どもの評価、今後の方針の検討
- 相談支援事業「セルフサポートこぐま」にて、障害児の計画相談におけるサービス利用計画作成

※赤字は小郡市からの受諾事業